

令和8年度

愛媛大学大学院人文社会科学研究科（修士課程）

産業システム創成専攻 環境・資源マネジメントコース

一次募集 入学試験問題

受験科目名	日本語 (外国人留学生特別選抜)
-------	---------------------

注意事項

- 1 解答に当たっては、「インターネット出願票」で届け出た科目であることを確認すること。
- 2 問題を選択する場合は、選択した問題番号・記号等を明記すること。
- 3 解答は特に指定のない場合、文字数については適宜とし、解答用紙が足りなくなった場合は挙手をして申し出ること。

『日本語』(外国人留学生特別選抜)

次の3つの文章は、放送大学の「アカデミックライティング」についての教材(2017年・2022年刊行分)の一部である。これらの内容を踏まえて、以下の問題に日本語で答えなさい。

文章1 『改訂版 日本語アカデミックライティング』「まえがき」より

著作権の関係上公表しません

※題意に合わせて、原文の一部を省略し、また表現を変更している。

出典：滝浦真人「まえがき」『改訂版 日本語アカデミックライティング』、放送大学教育振興会，2022年3月

文章2 『日本語アカデミックライティング』「まえがき」より

著作権の関係上公表しません

著作権の関係上公表しません

※題意に合わせて、原文の一部を省略し、また表現を変更している。

出典：草光俊雄・滝浦真人「まえがき」『日本語アカデミックライティング』，放送大学教育振興会，2017年3月

### 文章3 『改訂版 日本語アカデミックライティング』4章より

著作権の関係上公表しません

※題意に合わせて、原文の一部を省略し、また表現を変更している。

出典：滝浦真人「4章 アカデミック・ライティングの基礎③：研究の目的とタイトル」『改訂版 日本語アカデミックライティング』，放送大学教育振興会，2022年3月

問題1 文章1では放送大学基盤科目の「日本語科目」群を構成する3科目が挙げられている。この「日本語科目」群が積み上げ式のカリキュラム構成であると考えた場合、難易度が最も低い科目から高い科目の順に、解答用紙の該当欄に本文中の科目名で答えなさい。

問題2 文章1では、「日本語アカデミックライティング」は2017年開設の科目と2022年開設の科目で担当者(参画者)が違っているとされており、文章2にも担当者に関する記載が含まれている。文章1と文章2の内容に基づいて、解答用紙の該当の各欄に、担当者(参画者)であれば○を、担当者(参画者)でなければ×を、記入しなさい。

問題3 文章1のA) “注文の多い料理店”は日本の有名な児童文学のタイトルである。その作者名を答えなさい。

問題4 文章1から3では学問研究の持つ性格とアカデミック・ライティングの関係が説明されている。それらを踏まえた上で、アカデミック・ライティングを学ぶ意義を200文字以内で答えなさい。